



令和3年(2021年)第39週 2021年9月27日(月)~2021年10月3日(日)

感染症発生動向調查



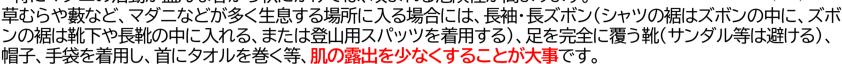
●ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニ媒介感染症は主に病原体を保有するダニに咬まれることで起こり、

日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などは近年増加傾向にあり、発生地域も広がってきています。特 にSFTSは重症化しやすいと考えられていることから、速やかな判断が必要です。また、エゾウイルス熱などの新た な感染症も発見されており、野外活動時には、マダニなどに咬まれないように気をつけましょう。

◆マダニに対しての予防法は?

特にマダニの活動が盛んな春から秋にかけては、咬まれる危険性が高まります。



服は、明るい色のもの(マダニなどを目視で確認しやすい)がお薦めです。虫除け剤の中には服の上から用いるタイ プがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して 下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などが確認ポイントです。 また、SFTSではウイルスに感染した動物から咬まれたために感染した事例も報告されています。体調不良の動物

には特に咬まれないように気をつけ、ペットもマダニに咬まれないような対策を取りましょう。

◆マダニにかまれた場合は?

マダニの多くは、ヒトや動物の皮膚にしっかりと口器を突き刺し、 長時間(数日から、長いものは10日間以上)吸血しますが、

厚生労働省*プ* 「北海道におけるエゾ ウイルス熱を発見」



厚生労働省合



咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われています。吸血中のマダニに気がついた際、無理に引き抜こうと するとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので、医 療機関(皮膚科など)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。

また、マダニなどに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で 診察を受け、マダニなどに咬まれた可能性があることを伝えて下さい。

期間		2021年 38週		2021年 39週	
		9/20~9/26		9/27~10/3(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		16	1.00	14	0.88
咽頭結膜熱(プール熱)		1	0.06	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0	0.00	1	0.06
感染性胃腸炎		19	1.19	29	1.81
水痘(みずぼうそう)		1	0.06	1	0.06
手足口病 警報レベル!!		86	5.38	79	4.94
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		12	0.75	10	0.63
ヘルパンギーナ		10	0.63	24	1.50
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		0	0.00	7	1.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00